

1 自己評価

領域	項目	質問内容	令和3年度後期			令和4年度前期			分析及び改善策
			肯定的割合（％）			肯定的割合（％）			
			生徒	保護者	教職員	生徒	保護者	教職員	
学校経営	教育目標	教育目標を達成している	86	69	94	92	87	100	校訓追求を中心とした教育活動については、生徒・保護者・教職員すべてにおいて、おおむね理解されており、学校の雰囲気も良好といえる。業務の改善については、課題の洗い出しを行い、効率化等を推し進めていく。
	学校の雰囲気	明るく楽しい雰囲気である	89	87	89	83	91	100	
	組織運営	校務分掌は責任体制が明確で、適切に機能している			100			88	
	業務の改善	校務の縮減・効率化等、業務の改善を推進している			65			47	
心の教育	生活・生徒指導	ルールやマナーを身に付けている	81	79	73	96	84	100	問題発生時は集会や道徳の時間に生徒に考えさせる機会を設定するなど、全職員での即時の対応を行っている。戸町っ子の心を見つめる教育週間では道徳公開授業、各学年の講話および校外学習を実施した。また、育友会の取組として、ながら見守りを行っていた。今後は平和集会（9日）、人権集会（2学期）に取り組む予定である。
		挨拶をよくしている	90	76	81	97	81	76	
		教職員は悩みや相談に親身に対応している	63	74	98	88	77	94	
	いじめ防止対策	学校はいじめ防止のための対策をとっている	56	72	100	73	79	100	
	人権教育	生命や人権を尊重しようとする心が育っている	86	77	81	94	89	100	
	平和教育	平和の大切さを感じ、その思いを発信しようとしている	87	73	81	94	88	88	
確かな学力	特色ある学校づくり	伝統や校風の実態に即した教育を行っている	78	76	85	92	86	82	今年度は「ICT機器（タブレット）を用いた授業改善」をおとした学力向上を目指している。中総体後にタブレット端末の持ち帰りが始まり、使用のルールとともに授業での使い方や課題の出し方などについて、研修等を継続する。
		学習指導・教育課程	わかりやすい授業を行っている	84	62	100	86	73	
	キャリア教育	家庭学習の習慣が身に付いている	59	55	52	71	58	23	
		将来の進路や職業について適切に指導している	79	61	94	71	69	100	
健やかな体	保健・衛生	学校の町や自分が住んでいる地域が好きである。	82			86			新型コロナウイルス感染症や熱中症対策を並行して実施している。具体的には毎日の検温や手指消毒に加え、換気の徹底、こまめな水分補給、屋休みの運動場の使用制限などが挙げられる。また、今年度は参加制限はあったが体育大会を実施し、生徒の心身の成長を見ることができた。
		衛生管理に努め、健康に関する教育を行っている	85	84	87	86	83	100	
	体力向上	基本的な生活習慣が身に付いている	85	80	64	87	82	94	
		体力向上に努めている	81	73	84	92	78	88	
食育	食に関する教育活動を行っている	68	67	71	81	80	82		
信頼される学校	安全管理	児童生徒の安全に気を配っている	82	84	89	75	75	100	安全管理については、教師の思いや取組が、生徒・保護者に十分に理解されていない面がある。今後も保護者・地域との連携を一層深め、情報交換を積極的に行うことで、信頼される学校づくりを進めていきたい。
	情報提供	学校の状況は、通信やHP等で知ることができる	72	83	100	81	86	94	
	PTA・地区との連携	学校はPTAや地域との連携がとれている	76	78	94	90	87	94	
	職員の資質向上	研修が充実し、資質が向上している			95			71	
教育環境	環境整備	教育環境が充実し、整備されている	58	62	66	66	76	47	生徒とともに「自分たちでできる環境整備」について考え、取り組ませていきたい。補修、修理については庁務員、学校事務と相談し対応を進める。
	職場環境	学校は働きやすい職場づくりに積極的に取り組んでいる			90			76	

2【全体を通して】

<p>◎教育目標 校訓追求評価、および学校評価をとおして学校教育目標や校訓については一定の評価を得ている。</p> <p>◎心の教育 日々の取組はもちろん、道徳公開授業や平和学習が良い結果をもたらしている。校訓追求評価の「友愛」の項目の評価が高いことにもつながっている。</p> <p>●業務の改善 縮小、削減できるものの洗い出しとともに、限られた時間の中でしっかりと見直しをもって業務を行うことも大切である。</p> <p>●家庭学習の習慣 6月からクロムブックの持ち帰りが始まり、夏休みの課題として用いている教科も多い。2学期以降、どのように家庭学習に取り組ませ、学力向上につなげていくのかを意識した取組が必要である。</p> <p>●環境整備 自分たちでできる範囲は山口さんの協力等を得ながら進めていく。それでも難しい場合は事務と協議の上、整備していく。</p>
--

3 自己評価のまとめ（成果・課題・対策等）

◎今年度は体育大会を有観客で実施できた。これにより、学級、学年、全校の団結や3年生の集団を引っ張る姿が育ち、校訓追求「友愛」を高めることができた。

●授業をはじめ、さまざまな活動において、「見通しをもって計画的に動く。」という機会を増やし、成功体験を通して自己肯定感につなげていきたい。（自分事として考えさせ、自ら改善させる姿勢を育成していきたい。）

●「失敗を恐れず、挑戦できる」ための集団の風土づくり、厳しさを乗り越えて得られる達成感、充実感を味わうための「鍛錬」も積極的に取り入れていきたい。

4 学校関係者評価

◎学校だよりを読んで、生徒の皆さんの行事に対する熱心な取組がうかがえます。コロナ禍での先生方のご指導、ご努力あつたのことと思います。

◎「友愛」については、ほぼ達成できていると思います。

◎登校見守りでは、生徒の皆さんから元気で笑顔のあいさつをいただいています。

◎地域から子供たちのためににできることを微力ではありますが、至誠・実行を目標に民生委員活動や子ども食堂活動に励んでいきたいと思ひます。ご協力をお願いします。

●先生方の業務多忙がうかがえます。ぜひ「休み方改革」の推進を！

●「見通しをもつ」、「夢や希望をもつ」等は社会状況の影響もあるような気がします。保護者や地域がしっかりと導くことも大切だと思ひます。